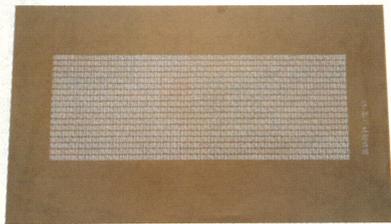


型ってなに？



型（伊勢型紙）とは、和紙を柿渋で張り合わせた紙（型地紙）に様々な紋様を彫り上げた、着物の図柄を染める道具のこと。古くから三重県鈴鹿市の白子・寺家地区を中心に発達した伝統工芸です。現在、その技術は国指定重要無形文化財であり、技術保持団体“伊勢型紙技術保存会”として「技」の継承に努めています。

本展示会では、日頃の成果を発表するとともに、製作した作品の展示と実演を行います。今回成果発表会の中では初の試みとなるワークショップを中心に、型をみて、実際に染める体験をすることで、より身近に伊勢型紙を知って感じていただけますと幸いです。

皆様のお越しをお待ちしております。

ワークショップ

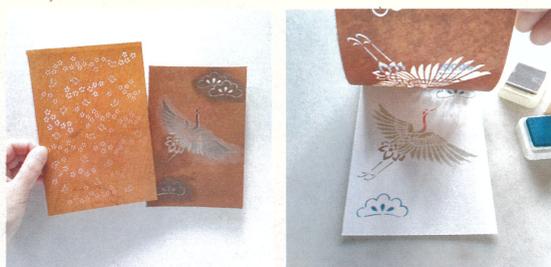
3/7(土)・8(日)

10:00-15:00 随時受付

※各日最終受付は 14:00 まで

型紙とスポンジを使ってはがきを染めるワークショップを行います。小さなお子さんも大歓迎♪

お気軽にご参加ください



参加無料・事前予約優先

彫刻 & 糸入れ実演

3/6(金)・7(土)・8(日)

10:00-12:00 / 13:00-15:00

伊勢型紙技術保存会所属の生徒による彫刻4技法と、型紙を補強する技術である糸入れの実演を行います。未来の匠の技を間近でご覧ください。



ワークショップご予約はこちらから▶▶▶

伊勢型紙技術保存会の Instagram @ISEKATAGAMI.HOZONKAI にてワークショップご予約フォーム・実演スケジュールの詳細などをご案内



会場：ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿 さつきプラザ（鈴鹿市文化会館）

〒513-0802 三重県鈴鹿市飯野寺家町 810

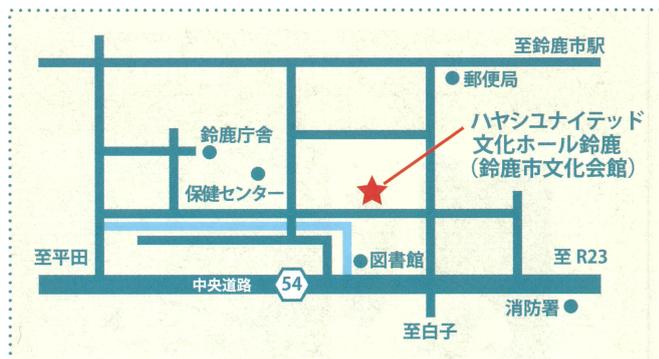
問い合わせ先：鈴鹿市文化財課 伊勢型紙技術保存会事務局

TEL：059-382-9031

後援：三重県・鈴鹿市

<交通アクセス>

近鉄鈴鹿市駅から三交バス「ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿」下車徒歩1分
または近鉄鈴鹿市駅からタクシーで約4分



【主催】重要無形文化財保持団体 伊勢型紙技術保存会